

作成日 2024 年 1 月 24 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 4949

課題名 : 尿道形成術の治療成績を予測する因子の検討に関する研究

1. 研究の対象

2004 年 8 月から 2024 年 1 月 31 日までの期間に当院で尿道狭窄症にて尿道形成術を受けた方

2. 研究期間

2023 年 8 月 1 日～2028 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2024 年 8 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

尿道狭窄症は外傷、尿道カテーテル留置や経尿道的手術、尿道炎の後遺症として発症します。尿道の線維化、癒着化によって尿道内腔が狭くなり、排尿困難が出現します。重症化すると自力での排尿ができなくなり、適切に治療を行わないと尿路感染症や腎機能障害を併発する可能性があります。尿道狭窄症に対する根本的な治療法は尿道形成術です。この研究は、どのような要因が尿道形成術の成功に影響を与えているか検討するのが目的です。

5. 研究方法

どのような要因が尿道形成術の成功に影響を与えているか統計学的に検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、術前に行った検査結果 (尿道造影、内視鏡、MRI 画像所見)、周術期の検査結果、手術時に切除した尿道狭窄部の病理スライドなど

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究費・利益相反 (企業等との利害関係) について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は科研費です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校泌尿器科学講座 堀口 明男

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

連絡先：04-2995-1511（内線5092）impreza@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校泌尿器科学講座 堀口 明男